

〔会務報告〕 昭和三十二年・第三十四回春陽展 関連

・春陽会会員小品展

上野 松坂屋 昭和三十二年二月一日～二月七日

・団体選抜新人展

日本橋白木屋 五階画廊

昭和三十二年四月二日～七日

・春陽会、二科会、一水会、自由美術、モダンアート、新制作協会、国画会、二紀会、独立美術協会、光風会、行動美術、一陽会、美術文化協会。

*春陽会…五味秀夫、宮城音蔵。

*新人賞選考委員

富永惣一、今泉篤男、瀧口修造、田近憲三、
嘉門安雄、植村鷹千代、徳大寺公英、瀬木慎一。

〔講演会〕

・第三十四回春陽展特別講演会

―春陽会の歩み―

場所 上野都美術館 春陽展会場

期日 四月二十八日(日曜日) 午後二時～四時

一、挨拶 三雲祥之助

一、大正十一年(一九二二)～昭和三年(一九二八)
日本フオヴィズム的傾向の誕生

木村 庄八

一、大正十一年(一九二二)～昭和九年(一九三四)
造形骨格の認識

倉田 三郎

一、昭和八年(一九三三)～昭和十五年(一九四〇)
日本の情感から造型思考への推移

加山 四郎

一、昭和十五年(一九四〇)～昭和二十年(一九四五)
春陽会教場と近代造型問題の導入について

岡 鹿之助

一、昭和二十一年(一九四六)～今日(昭和三十二年・一九五七)

南大路 一

1957 April

昭和 32 年 4 月

会務報告

(会員小品展、団体選抜新人展、第三十四回春陽展記念講演会)